



平成29年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エーアイティー

コード番号 9381 URL <http://www.ait-ip.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢倉 英一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総合企画部・経理財務部担当 (氏名) 西村 司

TEL 06-6260-3450

四半期報告書提出予定日 平成29年1月16日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第3四半期の連結業績(平成28年3月1日～平成28年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第3四半期	15,914	△0.8	1,104	△11.4	1,154	△12.4	776	△7.0
28年2月期第3四半期	16,038	△1.3	1,246	0.7	1,318	4.8	834	11.4

(注) 包括利益 29年2月期第3四半期 542百万円 (△31.9%) 28年2月期第3四半期 797百万円 (△0.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第3四半期	40.64	—
28年2月期第3四半期	43.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年2月期第3四半期	6,610	4,711	71.1
28年2月期	6,368	4,741	74.2

(参考) 自己資本 29年2月期第3四半期 4,701百万円 28年2月期 4,725百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	15.00	—	15.00	30.00
29年2月期	—	15.00	—	—	—
29年2月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年2月期の連結業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,130	9.4	1,594	4.2	1,644	2.8	1,100	5.5	57.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) AIT International of America,Inc. 、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年2月期3Q	19,754,400 株	28年2月期	19,754,400 株
② 期末自己株式数	29年2月期3Q	640,768 株	28年2月期	640,768 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年2月期3Q	19,113,632 株	28年2月期3Q	19,113,632 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、個人消費の伸び悩みが続くものの、企業収益の回復や雇用・所得環境の改善等から、景気は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、英国のEU離脱問題や中国をはじめとする新興国経済の減速懸念により、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、国際貨物輸送、通関や配送、国内外での3PL（サードパーティー・ロジスティクス）といった一貫輸送の提案型営業に注力し、新規顧客の獲得と既存顧客との取引拡大を図ってまいりました。

また、新たに北米を基点とした国際輸送サービスを提供し、更なるサービス拡充を図るため、昨年8月には米国に現地法人を設立いたしました。

従来からの取り組みにより、国際貨物輸送の取扱いは堅調に増加した一方で、前年同期と比較し、円高基調で推移したことが、営業収益、売上総利益それぞれを大きく押し下げる要因となりました。

この状況下、販売費及び一般管理費の抑制にも取り組んでまいりましたが、為替変動の影響による売上総利益の減益を吸収しきれず、営業利益以下の段階利益も減少することとなりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における営業収益は15,914百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益1,104百万円（前年同期比11.4%減）、経常利益1,154百万円（前年同期比12.4%減）親会社株主に帰属する四半期純利益776百万円（前年同期比7.0%減）と前年同期を下回ることとなりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

なお、当第3四半期連結会計期間より、米国における子会社（AIT International of America, Inc.）の設立に伴い、「その他」を追加して米国子会社を含めております。詳細につきましては、「3. 四半期連結財務諸表（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）セグメント情報」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

①日本

当第3四半期連結累計期間では、海上輸送のみならず通関等も含めた一貫輸送の受注獲得に向け、営業の強化を図ってまいりました。その結果、海上輸送での取扱コンテナ本数は、輸入で130,597TEU（前年同期比14.2%増）、輸出入合計で136,094TEU（前年同期比13.9%増）、通関受注件数は55,255件（前年同期比21.4%増）とそれぞれが9ヶ月連続して前年同月を上回り、堅調な伸びとなりました。

以上のことから、営業収益は12,891百万円（前年同期比4.2%増）と前年同期を上回りましたが、取扱高の増加以上に円高基調で推移したこと等が収益の低下要因となり、セグメント利益は801百万円（前年同期比15.3%減）と前年同期を下回ることとなりました。

②中国

日本向け貨物は増加した一方で、円高基調による現地通貨の円貨換算額の減少から、営業収益は2,974百万円（前年同期比17.9%減）となりましたが、売上総利益率の好転及び販売費及び一般管理費の抑制により、安定した利益の確保に努めたことで、セグメント利益は303百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

③タイ

円高基調による為替の要因から現地通貨の円貨換算額は減少しましたが、日本向け貨物が回復の傾向にあり、営業収益は48百万円（前年同期比6.1%増）となった一方で、営業活動における費用が嵩んだ結果、セグメント損失は2百万円（前年同期はセグメント損失0百万円）となりました。

④その他

昨年9月に米国子会社の設立が完了して間もないことから、営業収益への貢献はなく、セグメント損失は0百万円となりました。

（注）TEU（Twenty-foot Equivalent Unit、20フィートコンテナ換算）とは、海上コンテナの数量を表す単位で、20フィートコンテナ1個分を1TEUと計算します。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ242百万円増加し6,610百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が352百万円、立替金が186百万円増加した一方で、現金及び預金が265百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ273百万円増加し1,899百万円となりました。これは主に、買掛金が256百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ30百万円減少し4,711百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益776百万円を計上した一方で、剰余金の配当により573百万円、為替換算調整勘定が227百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月期の通期連結業績予想につきましては、平成28年4月7日に公表いたしました予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間において、AIT International of America, Inc. を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,932,187	3,666,579
受取手形及び売掛金	1,302,194	1,654,389
立替金	667,102	853,994
その他	129,568	143,039
貸倒引当金	△14,435	△16,690
流動資産合計	6,016,617	6,301,312
固定資産		
有形固定資産	62,164	40,241
無形固定資産	77,880	70,537
投資その他の資産		
投資有価証券	5,707	2,887
差入保証金	195,262	191,251
その他	10,845	7,811
貸倒引当金	△12	△3,111
投資その他の資産合計	211,802	198,838
固定資産合計	351,847	309,618
資産合計	6,368,464	6,610,931
負債の部		
流動負債		
買掛金	758,288	1,015,263
未払法人税等	220,414	137,065
賞与引当金	58,616	92,490
役員賞与引当金	13,300	13,649
その他	255,643	304,356
流動負債合計	1,306,262	1,562,824
固定負債		
退職給付に係る負債	214,402	234,040
役員退職慰労引当金	69,310	58,488
その他	36,806	44,529
固定負債合計	320,518	337,057
負債合計	1,626,781	1,899,882

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	271,140	271,140
資本剰余金	221,590	221,590
利益剰余金	4,004,705	4,207,994
自己株式	△67,928	△67,928
株主資本合計	4,429,507	4,632,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	15
繰延ヘッジ損益	-	△494
為替換算調整勘定	296,394	69,114
その他の包括利益累計額合計	296,394	68,635
非支配株主持分	15,781	9,617
純資産合計	4,741,683	4,711,049
負債純資産合計	6,368,464	6,610,931

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)
営業収益		
輸送事業収入	16,038,618	15,914,987
営業収益合計	16,038,618	15,914,987
営業原価		
輸送事業仕入	12,096,728	12,139,841
営業原価合計	12,096,728	12,139,841
売上総利益	3,941,889	3,775,146
販売費及び一般管理費	2,695,176	2,671,095
営業利益	1,246,712	1,104,050
営業外収益		
受取利息	16,293	10,931
為替差益	34,077	20,953
その他	21,126	19,043
営業外収益合計	71,498	50,928
営業外費用		
支払利息	155	57
営業外費用合計	155	57
経常利益	1,318,054	1,154,922
特別損失		
固定資産除却損	794	67
投資有価証券評価損	-	2,897
特別損失合計	794	2,965
税金等調整前四半期純利益	1,317,260	1,151,957
法人税、住民税及び事業税	529,198	390,957
法人税等調整額	△44,219	△10,982
法人税等合計	484,978	379,974
四半期純利益	832,281	771,982
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,574	△4,714
親会社株主に帰属する四半期純利益	834,856	776,697

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)
四半期純利益	832,281	771,982
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,064	15
繰延ヘッジ損益	△175	△494
為替換算調整勘定	△32,740	△228,728
その他の包括利益合計	△34,980	△229,207
四半期包括利益	797,301	542,774
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	801,177	548,938
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,876	△6,163

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国 (注) 1	タイ	計				
営業収益								
(1) 外部顧客に対する 営業収益	12,370,507	3,622,044	46,066	16,038,618	—	16,038,618	—	16,038,618
(2) セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	14,212	1,527,903	12,651	1,554,766	—	1,554,766	△1,554,766	—
計	12,384,719	5,149,947	58,717	17,593,384	—	17,593,384	△1,554,766	16,038,618
セグメント利益 又は損失(△)	945,780	301,697	△765	1,246,712	—	1,246,712	—	1,246,712

(注) 1. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	日本	中国 (注) 1	タイ	計				
営業収益								
(1) 外部顧客に対する 営業収益	12,891,151	2,974,979	48,856	15,914,987	—	15,914,987	—	15,914,987
(2) セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	67,595	1,420,222	24,154	1,511,971	—	1,511,971	△1,511,971	—
計	12,958,747	4,395,201	73,010	17,426,959	—	17,426,959	△1,511,971	15,914,987
セグメント利益 又は損失(△)	801,291	303,512	△2,346	1,102,457	△807	1,101,650	2,400	1,104,050

(注) 1. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人です。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国の現地法人です。

3. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

米国における子会社(AIT International of America, Inc.)の設立に伴い、当第3四半期連結会計期間より、報告セグメントに含まれない事業セグメント「その他」を追加しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

(合弁会社の設立)

当社は、平成28年12月26日開催の取締役会において、伊藤忠ロジスティクス株式会社（以下「伊藤忠ロジスティクス社」という。）との間でベトナムに合弁会社を設立することについて決議し、平成28年12月27日付で合弁契約を締結いたしました。

(1) 合弁会社設立の目的

当社グループは、日本と中国・東南アジア、さらに北米を結ぶ物流ネットワークの強化と国際貨物輸送のサービス向上に努めてまいりました。

ベトナムでは、平成19年10月に駐在員事務所を開設し、タイ現地法人との連携のもと、ASEAN地域の情報収集と顧客への情報提供を積極的に行っております。

これらの取り組みが奏功し、近年、ベトナムから日本への輸入貨物量が急激な伸びを示しております。

よって、いち早く法人化することで更なる国際輸送サービスの拡充を図るべく、加えて、国際貨物運送以外に日本国内外で倉庫事業及び配送センター事業でも実績を持つ伊藤忠ロジスティクス社との協業により、将来において、ベトナム国内での3PL（サードパーティー・ロジスティクス）業を展開していくための布石になると判断し、合弁会社を設立することといたしました。

(2) 合弁会社の概要

①会社名	AITC LOGISTICS (VIETNAM) CO.,LTD. (仮称)
②本社所在地	ベトナム社会主義共和国 ホーチミン市
③代表者	未定
④資本金	110億ベトナムドン (約56百万円)
⑤事業の内容	国際貨物輸送事業
⑥設立年月日	平成29年7月 (予定)
⑦出資比率	当社51%、伊藤忠ロジスティクス社49%